

プロポーザル審査要領

プロポーザル審査（プレゼンテーション審査） 100点

提出された提案書等から下記の項目で審査を行う。

審査項目

（1）実施方針【15点】

- 事業目標等の理解度（15点）
 - ・事業目的及び概要を的確に把握・理解し、こちらが求める事項が漏れなく入っているか。

（2）提案内容【30点】

- 提案内容（20点）
 - ・必要な前提条件や課題を把握・整理できる提案となっているか。
 - ・対象となる施設の価値、リスク等を適切に調査できる提案となっているか。
 - ・サウンディング先の業種など、適切な企業を想定しているか。
 - ・運営・整備手法を提案する上で十分な企業数を確保できる見込があるか。
- 実現可能性（10点）
 - ・実現可能な提案となっているか。

（3）実施体制【15点】

- 業務遂行の体制（15点）
 - ・配置技術者が適正か。
 - ・業務の遂行に必要な人員・組織で、適材適所の体制がとられているか。
 - ・連絡調整等の体制・能力は十分か。

（4）実施スケジュール【15点】

- スケジュール（15点）
 - ・業務全体のスケジュールが的確に示され、現実的なスケジュールとなっているか。

（5）業務実績【15点】

- 業務実績（15点）
 - ・参加要件である実績が十分にあるか。
 - ・参加要件である実績を有し、本業務に生かせる実績であるか。

（5）価格評価【10点】

- ・見積価格の評価